

数学科 1年

教科の目標

- ① 正負の数の四則演算ができるようになる。またそれらを利用し、文字式の計算ができるようになる。
- ② 方程式の計算、文章問題ができるようになる。
- ③ 比例関係、反比例関係の事象はどのようなものかを理解し、式やグラフを書くことができるようになる。
- ④ 目的に応じて資料を収集して整理し、その資料の傾向を読み取る能力を培う。

学習計画

1学期 (週3時間)			2学期 (週3時間)			3学期 (週3時間)				
月	週	内容	月	週	内容	月	週	内容		
4	1	オリエンテーション	9	18	中間考査(17～18日) 3. 文字式の利用	1	35	4 比例と反比例の利用		
	2	0章 整数の性質		19			36			
	3	1章 正負の数		20			37			
	4	1. 正負の数		21			38		7章 データの分析と活用	
5	5	2. 加法と減法	10	22	3章 方程式	2	39	1. データの整理と分析		
	6			23	1. 方程式とその解き方		40			
	7			24	2. 1次方程式の利用		41		学年末考査(25～27日)	
	8			25			3. 反比例		42	2. データの活用
	9			26					43	
6	10	4. 正負の数の利用	11	27	4章 比例と反比例	3	44	3. ことがらの起こりやすさ		
	11	期末考査(11～13日)		28	1. 関数		45			
	12	2章 文字と式		29	期末考査(12～14日)					
	13	1. 文字を使った式		30						
7	14	2 文字式の計算	12	31	2. 比例					
	15			32						
				33						
				34						

評価について

	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度	
	観点の割合	33%	観点の割合	33%	観点の割合	33%
評価資料	小テスト 定期考査		小テスト 定期考査 提出物		小テスト 定期考査 提出物 授業観察	

学習の仕方と評価のポイント

- 復習がとても大切です。授業で学習したことは、必ずその日の内に復習して下さい。そして、次の授業につなげて下さい。
- 力を定着させるには繰り返し問題を解くことが大切です。力を伸ばすには、できなかった問題や間違えた問題の解き直しをするとともに、難しい問題にもチャレンジすることが大切です。
- 提出物や問題集の点検では、正解し、理解しているかを見るだけでなく、間違えた問題は解き直し、理解に努めているかも見ます。

数学科 1年

教科の目標

- ① 平面図形について直観的な見方や考え方を深め、論理的に考察し表現する能力を培う。
- ② 空間図形について直観的な見方や考え方を深め、論理的に考察し表現する能力を培う。

学習計画

1学期 (週1時間)			2学期 (週1時間)			3学期 (週1時間)		
月	週	内容	月	週	内容	月	週	内容
4	1	オリエンテーション	9	18	中間考査(17~18日)	1	35	3 立体の体積と表面積
	2	5章 平面図形		19			36	
	3	1. 図形の移動		20			37	
	4			21			2	38
5	5	2. 基本の作図	10	22	6章 空間図形 1 いろいろな立体	39		
	6			23		40		
	7			24		41		
	8			25		3	42	1年生の復習
9	26	43						
6	10	期末考査(11~13日)	11	27	2 立体の見方と調べ方 期末考査(12~14日)	44		
	11			28		45		
	12			29				
7	14	3. おうぎ形	12	30				
	15			31				
				32				
				33				
				34				

評価について

	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度	
	観点の割合	33%	観点の割合	33%	観点の割合	33%
評価資料	小テスト 定期考査		小テスト 定期考査 提出物		小テスト 定期考査 提出物 授業観察	

学習の仕方と評価のポイント

- 復習がとても大切です。授業で学習したことは、必ずその日の内に復習して下さい。そして、次の授業につなげて下さい。
- 力を定着させるには繰り返し問題を解くことが大切です。力を伸ばすには、できなかった問題や間違えた問題の解き直しをするとともに、難しい問題にもチャレンジすることが大切です。
- 提出物や問題集の点検では、正解し、理解しているかを見るだけでなく、間違えた問題は解き直し、理解に努めているかも見ます。